学校創立２５周年

令和６年度　豊島区立要小学校学校経営方針

豊島区立要小学校　校長　渡部　貴美子

豊島区教育ビジョン 2019　目指す目標

過去に学び、現在を生き抜き、夢と志をもって歩む　としまの子

教育目標

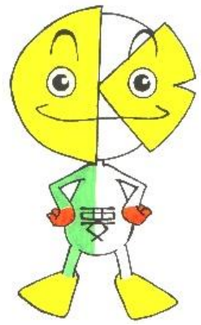
〇健康で、たくましい子　〇思いやりの心をもち、協力する子
〇よく考え、進んで学ぶ子

学校経営の基本理念

子供たち一人一人に寄り添い、子供たちが夢と希望と自信をもって生きていく力を育てることができる学校づくりを行う。
そのためには、教職員は子供の未来を創っているという意識を常にもち、信頼される人間性・指導力を磨くことに努力を怠ってはならない。子供を中心におき、教職員だけでなく、保護者・地域も巻き込んだ幅広い学校経営を行う。

目指す学校像

行きたい学校　行かせたい学校



要小学校
イメージキャラクター
かなめくん

子供たちが成長を実感できる学校	保護者・地域に、信頼される学校	教職員が、誇りをもって所属できる学校
自分を受け入れてくれる居場所があり、 学ぶことを楽しいと思える時間を過ごせる 学校を目指します。	学校・保護者・地域が同じ方向を向き、 力を合わせて子供たちを育てていこうと思える 学校を目指します。	人を育てることの重責とやりがいを、 教職員の成長につなげることのできる 学校を目指します。

【ニコニコ　ピンピン　ミンナデ　ナカヨク　ナニカデ　ヒトヨリ】　要小学校児童の信条(校訓)

子供たちが成長を実感できる学校を目指して

【学ぶことが楽しい】
〇学習規律の確立「要スタンダート」
・授業の始めと終わりの挨拶・話の聞き方・声の大きさ
　ノートの書き方・お道具箱の使い方など
　ICT 機器を活用し、視覚的にわかりやすい授業を展開します。
〇学力調査の結果を分析し、授業改善に生かします。
〇習熟度別授業(算数)の実施
〇学校図書館・司書の活用と読書活動の充実

【成長を実感する】
〇「めあて」と「振り返り」のある授業を行います。
・「やってみたい・やってみよう」という「めあて」を明確にし、授業の最後にその「めあて」に沿った振り返りを行うことで、子供たちに何が身に付いたのかを自覚させ、成長を実感できるようにします。
・問題解決に至るまでの思考の流れについても大切にします。
〇子供主体の学びを目指します。
・答えを発表するだけの授業ではなく「わからないこと」「自分の考え」「友だちの考え」を発表したり、聴いたりして、学び合いながら、考える楽しさ・よさを味わえる授業を目指します。

【豊かな心の育成】
〇自分とともに他人を大切にする態度の育成

令和６・７年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校
豊島区教育委員会研究開発指定校
「自他を認める児童の育成～学び合い活動を通して～」(仮)

・教育活動全体を通して、人権尊重の理念を理解させ、実践する態度を育成します。
・気持ちのよい挨拶・返事・言葉遣いを指導し、言語環境を整えます。
・その子のよさや持ち味を伸ばす肯定的な評価に努め自己有用感の伸長を図ります。(よい言動・よい行動は「認める」「褒める」。)
・たてわり班活動による異学年交流の推進を行います。
・「クラス作りのための総合質問紙調査 i-check」の結果を学級経営に生かし、一人一人に寄り添った指導を行います。
・「ナニカデ　ヒトヨリ」自分の得意なこと・頑張っていることに気づかせ、認める場をつくります。
〇いじめのない学校づくり
・「いじめはぜったいゆるさない」メッセージを繰り返し発信します。
・「相談カード」や「いじめに関するアンケート」などから、いじめの予防・早期発見に努めます。
・週１回生活指導の情報共有の時間を設け、チーム要で対応をします。

【健やかな体の育成】
〇「早寝」「早起き」「朝ご飯」規則正しい生活習慣の定着
〇体育的活動の充実
・中休み・昼休みにおける外遊びの奨励
・縄跳び月間・体力向上月間・体育朝会の実施
〇体育科指導の充実
・体力調査の結果をもとにした授業改善を行います。
〇保健学習・保健指導の充実
・「生活習慣病の予防」「がんに関する教育」「歯と口腔の健康」に関する学習をします。
・飲酒・喫煙・薬物乱用の防止についての学習をします。
〇「SOSの出し方」など命の大切さについて学びます。
〇食育の推進
・給食指導を通して栄養士・担任が連携し、食に関する指導を行います。
・安全・安心な学校給食を提供します。

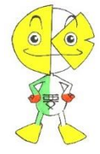
【一人一人を大切にする教育の推進】
〇特別支援教育を充実させます。
・特別支援コーディネーターを中心として特別支援教室「あすなろ」・特別支援学級「すずかけ」との指導の連携・組織的対応を行います。
・特別支援教育巡回相談(チームステップ)や医療・福祉の専門家と連携し、支援体制の充実を図ります。
〇関係諸機関と連携した教育を推進します。
　教育相談・就学相談コーディネーターを中心として、関連機関・SC・SSW とも連携を図り、適切な支援・就学につなげます
〇インクルーシブ教育を推進します。
・障がい理解教育（普通学級児童へ特別支援学級「すずかけ」の紹介）の授業を定期的に行います。
・特別支援学級「すずかけ」との連携による共同学習を推進します。
〇不登校対策の充実を図ります。
・組織的対応で未然防止・早期発見対応・復帰支援・再発防止など不登校対応力の向上を図ります。

SDGｓを意識した教育活動を推進します。
　子どもたちが現代の社会課題について学び「持続可能な社会を創る」ということを目的に思考を深めることで、社会課題を他人事ではなく、自分事として捉える能力を育成します。

保護者・地域に、信頼される学校を目指して

【保護者・地域とともにある学校づくり】
〇PTA・学校運営連絡協議会との連携
・教育活動の目標やビジョンを共有し、より質の高い教育活動を目指します。
〇保護者と連携した情報モラル教育の充実・「家庭学習のすすめ」
〇千川中学校ブロックの小中連携
・学びの連続性をもたせ、中学校へのスムーズな進学につなげます。
〇近隣の幼稚園・保育園との交流
・育ちの連続性をもたせ、円滑な接続につなげます。
〇子どもスキップ要との情報共有
〇放課後子ども教室との連携
〇豊島ふるさと学習の実施
・区内の施設見学や地域学習・体験学習を通して、地域を誇りに思う気持ちを育てます。
〇地域行事への参加
・地域の方とともに清掃活動を行い、地域社会の一員としての自覚・連帯感を育みます。
〇学校だより・ホームページを活用した情報発信
〇学校行事学校公開・保護者会・道徳地区公開講座など教育活動の公開

教職員が、誇りをもって所属できる学校を目指して

【教師力の向上】
〇人権意識・危機管理意識の向上
・人権課題・服務事故についての研修を行います。
〇高い指導力の育成　　「教師は授業で勝負する」
　児童理解力・学習指導力・集団指導力・学級経営力
・各種研修・OJT を通して教師力を高めます。
〇教職員も「主体的」「創造的」
・まず教職員が手本を見せます。率先垂範

【チーム要】
〇全教職員の協働体制
・報告・相談・連絡を徹底します。
　(生活指導夕会・学年会・週案簿活用)
・情報を共有し、理解と協力のもと組織的に対応します。
〇働きやすい職場環境の整備
・風通しのいい職場で、互いに信頼して職務に励みます。
・業務内容の見直し・デジタル技術の活用などで、業務の効率化を図っていきます。